

斑点米カメムシ類防除のため

誘引源となる畦畔等の除草を徹底しましょう！

斑点米カメムシ類（写真1）は、水稻の籾を吸汁し不稔や斑点米（写真2）を発生させる害虫です。今後の発生予測のため、6月中旬に雑草地等（イネ科植物）で発生状況を調査しました。

1 調査結果

- (1) ホソハリカメムシは、平年より多く（平年比 428%）、クモヘリカメムシは平年並（表1）。
- (2) 近年発生・被害が増加しているイネカメムシは足利市、ミナミアオカメムシは栃木市で確認された。
- (3) カスミカメムシ類（アカスジカスミカメ及びイネホソミドリカスミカメ）は、平年よりやや少ない。

気象庁の1か月予報（6月19日発表）では、今後1か月の平均気温は高い見込みで、斑点米カメムシ類の活動や増殖に好適な条件です。水稻の出穂2～3週間前と出穂期頃の2回除草を行い、カメムシ類の誘引源、増殖源をなくしましょう。また、出穂期頃から斑点米カメムシ類の防除適期となりますので、それまでに水稻のほ場内外での発生状況の把握に努めましょう。

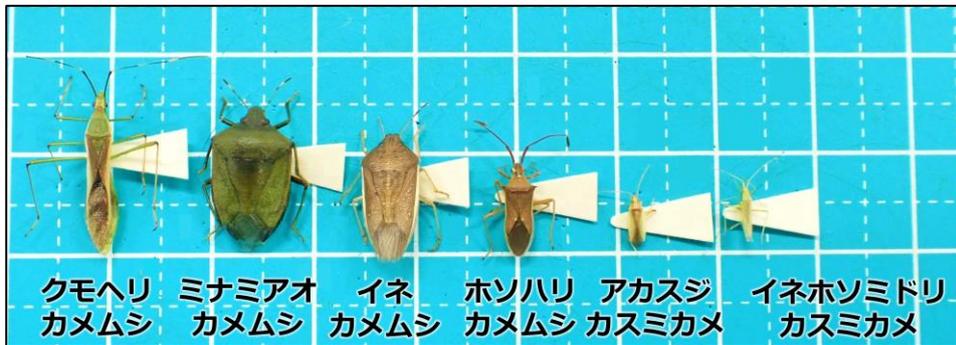


写真1 栃木県における斑点米カメムシ類の主要種



写真2 斑点米

表1 雑草地等すくい取り調査による斑点米カメムシ類捕獲頭数と平年比

種名	今年値※1	平年値※2	平年比 (%) (今年値/平年値×100)
クモヘリカメムシ	0.05	0.05	103
ミナミアオカメムシ	0.05	0	—
イネカメムシ	0.02	0	—
ホソハリカメムシ	4.45	1.04	428
カスミカメ類	37.05	62.71	59

※1 県内全42地点の捕獲頭数の平均値（頭/地点）。

※2 10か年の平均値（平成27（2015）年～令和6（2024）年）。

ただし、イネカメムシは令和3（2021）年～令和6（2024）年の4年間、ミナミアオカメムシは令和元（2019）年～令和6（2024）年の6年間の平均値。

2 防除対策

(1) 除草

- ① 水稻の出穂2～3週間前と出穂期頃の2回除草を行う（図1）。

（イネ科雑草の結実を長期間抑え、カメムシ類の水田への侵入を防ぐため）

※ 両時期の除草ができない場合は、水稻の出穂期10日前までに除草を行う。

※ 出穂期前後のみの除草は、カメムシ類を水田へ追い込み、水稻の穂を集中加害させることになるため、原則行わない。

- ② 水田畦畔、農道、休耕田等のイネ科雑草を結実させないように管理する。

※ 増殖源、誘引源となる水田内のノビエやイヌホタルイなどの雑草は除去する。

(2) 薬剤防除

① 出穂期頃、出穂期から7～10日後の2回薬剤散布を実施する(図1、表2)。

※ イネカメムシによる不稔被害を抑制するためには出穂期頃、イネカメムシを含むすべての斑点米カメムシ類による斑点米被害を抑制するために出穂期から7～10日後の防除が有効である。

② その後も斑点米カメムシ類が見られる場合は、7～10日間隔で1～2回追加防除する。

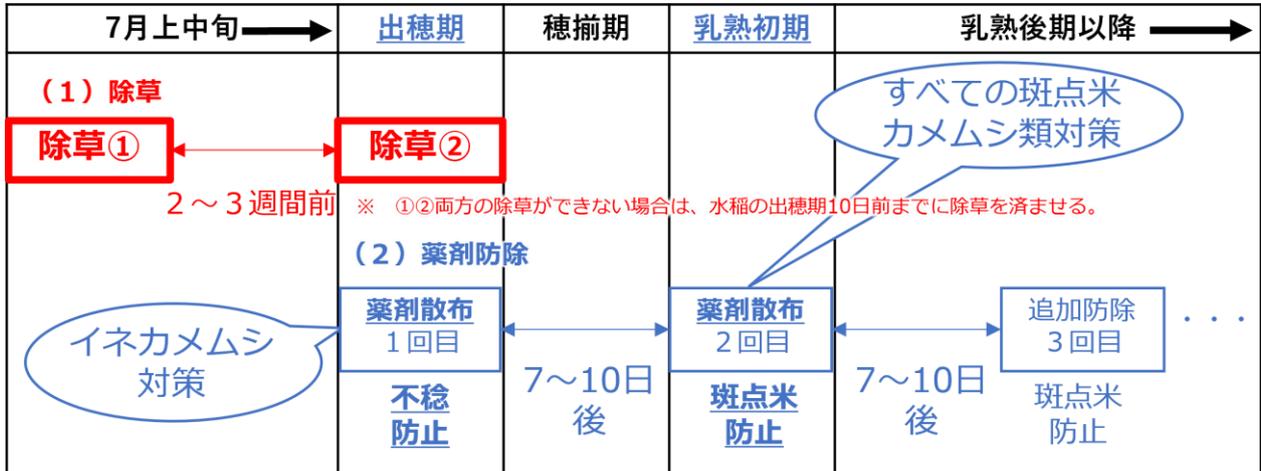


図1 斑点米カメムシ類防除のイメージ

表2 水稻のカメムシ類に登録のある主な薬剤(令和7(2025)年6月19日現在)

農薬名	希釈倍数 又は使用量	使用時期	本剤の 使用回数	成分	農薬の系統	IRAC コード
スミチオン乳剤	1000倍	収穫21日前まで	2回以内	MEP	有機リン系	1B
キラップフロアブル	1000～2000倍	収穫14日前まで	2回以内	エチプロール	フェニルピラゾール	2B
トレボンEW	1000倍	収穫14日前まで	3回以内	エトフェンブロックス	ピレスロイド	3A
スタークル液剤10	1000倍	収穫7日前まで	3回以内	ジノテフラン	ネオニコチノイド	4A
エクシードフロアブル	2000倍	収穫7日前まで	3回以内	スルホキサフロル	スルホキシイミン	4C

注1: IRACコードが同一のものは作用点が同じなので連用を避ける。

注2: 斑点米カメムシ類に対する薬剤防除は、水田周辺のミツバチに影響を及ぼす可能性があるため、地域の養蜂家に対して薬剤防除日を事前に周知する等の積極的な対応を行う。

詳細な防除対策は以下を参照にしてください。

- ・病害虫防除対策のポイントNo.16「斑点米カメムシ類の防除対策」参照
<https://www.pref.tochigi.lg.jp/g59/boujo/documents/point16.pdf>
- ・病害虫防除対策のポイントNo.23「イネカメムシの防除対策」参照
<https://www.pref.tochigi.lg.jp/g59/boujo/documents/point23.pdf>

詳細は、農業総合研究センター(Tel 028-665-1244)までお問合せください。

病害虫情報発表のお知らせはX「栃木県農政部(@tochigi_nousei)」、
農業総合研究センターホームページ

(<https://www.pref.tochigi.lg.jp/g59/index.html>)でもご覧いただけます。

カメムシ防除作戦のホームページも御確認ください

(<https://www.pref.tochigi.lg.jp/g05/kamemushi.html>)。



～栃木県からのお知らせです～

6月～8月は、「栃木県農業危害防止運動」の実施期間です。



- ① 安全作業の第一歩! 農薬散布時の身支度は万全に! ② いつものチェック! 農薬使用の際は、ラベルをよく読み正しく使しましょう!
- ③ 農薬散布のその前に! 風量や風向きに注意して、飛散防止に努めましょう! ④ 周辺への配慮! 住宅地等でやむを得ず農薬を使用する際は十分に配慮しましょう!
- ⑤ 農薬散布のその後! 防除器具の洗浄も欠かさずに行いましょう!



農作業中の熱中症に注意しましょう

- ・こまめな休憩、水分・塩分補給を行いましょ
- ・単独作業は避け、一人作業の場合は携帯電話を持ちましょ
- ・体調不良を感じたら、すぐに作業を中断し、涼しいところで休みましょ

